

暗号資産等報告枠組み（CARF） XMLスキーマユーザーガイド

2025年7月

はじめに

CARFユーザーガイドとCARF XMLスキーマの関連性

暗号資産等報告枠組み（CARF）ユーザーガイドに基づく交換のためのスキーマは、スキーマに基づいて論理的区分（logical sections）に分かれており、各要素（elements）及び各要素を記載する属性(attribute)に関する情報を提供する。

CARFスキーマユーザーガイドの主なセクションは以下のとおり：

- I. メッセージヘッダー：送信者、受信者、メッセージタイプ、報告期間。
- II. 組織当事者タイプ（Organisation Party Type）：事業体を特定するために用いられ、報告暗号資産交換業者等（RCASPs：Reporting Crypto-Asset Service Providers）及び暗号資産等取引実施者（Crypto-Asset Users）である事業体（Entity）を対象とする。
- III. 個人当事者タイプ（Person Party Type）：個人を特定するために用いられ、報告暗号資産交換業者等及び暗号資産等取引実施者である個人並びに事業体の暗号資産等取引実施者を実質的に支配する自然人を対象とする。
- IV. CARF Body（CARF報告本体）：以下の2つのサブセクションで構成される。
 - a. RCASP：CARFに基づき報告を行う報告暗号資産交換業者等の識別情報及び報告を行う国・地域との関連性（Nexus）に関する必須情報が含まれる。
 - b. Crypto Users：報告対象の暗号資産等取引実施者についての情報が含まれる。
 - i. 識別情報：CARFに基づき交換対象となる暗号資産等取引実施者（個人または事業体）及び実質的支配者（Controlling Persons）を特定するもの。
 - ii. 関連取引（Relevant Transactions）：CARFに基づき報告対象となる暗号資産等取引実施者が行った関連取引に関する情報、具体的には関連する暗号資産と法定通貨間の交換、複数の関連する暗号資産間の交換、及び関連する暗号資産の移転（報告対象小売決済取引及び自己管理型ウォレットへの移転を含む）を含む。

CARF XMLスキーマは、暗号資産等報告枠組み（CARF）に基づく自動的情報交換に関する多国間の当局間合意（CARF MCAA）または類似の情報交換手段に基づき、有効な情報交換関係のある当局間で、CARFに基づき報告された情報の交換に用いることを目的として設計されている。

適切な場合には、国・地域は、それぞれの報告暗号資産交換業者等から必要な情報を収集する目的で、国内において本スキーマの活用も検討しうる。本ユーザーガイドのうち、国内での本スキーマの活用に関連する部分は斜体で表示されている。

各要素とその属性の要件フィールドは、その要素がスキーマにおいて必須項目 (Validation) であるか任意項目 (Optional) であるかを示す。スキーマ内の各要素は、いずれか一方に分類される。

「Validation」要素はファイル内の全データレコードに存在しなければならない、自動検証チェックが実施される場合がある。送信者はXMLツールを用いてデータファイルの内容を技術的に確認し、全ての「Validation」要素が存在することを確認しなければならない、存在しない場合はファイルを訂正しなければならない。

受信者も同様に確認を行い、不備がある場合はファイルを受領しない場合がある。検証親要素の下で2つの検証要素から選択可能であり、いずれか一方のみが必要な場合には「Validation (choice)」として表示される。

スキーマ上の任意項目 (Optional) の要素において、異なる取扱いとなる場合がある：

- 一部の任意項目は「(Optional) Mandatory」と表示される。これは情報の入手可能性や法的要因に基づき、CARFの報告要件によって報告が義務付けられる要素である。これらはほとんどの場合において入力が必要となるが、全てのケースで当てはまるものではないため、単純なシステムの検証プロセスでチェックすることはできない。例えば、CARFは出生地情報に関して例外を設けており、報告暗号資産交換業者等が国内法に基づき取得・報告を義務付けられており、かつ当該交換業者等が管理する電子検索が可能なデータに存在する場合を除き、報告は不要である。
- 任意要素は提供可能だが、入力は必須ではない。
- 他のスキーマとの構造的な整合性を保つため、CARFスキーマに特定の要素が含まれる場合があるが、これらは必須ではない (例：国籍要素)。これらの情報はCARFスキーマファイルに含めて報告すべきではなく、これらの要素は「Optional (non-CARF)」と表示される。

CARFユーザーガイドの付録Aには、CARF XMLスキーマの全要素を図式的に示した図が掲載されている。

CARFユーザーガイドの付録Bには、CARF XMLスキーマの名前空間 (namespaces) に関する用語集が含まれている。

CARFスキーマ情報

1. メッセージヘッダー

メッセージヘッダーの情報は、CARFメッセージを送信する権限ある当局を識別する。メッセージの作成日時、報告対象となる報告期間及び報告の性質（新規、訂正、削除など）を記載する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
SendingEntity IN		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional

CARF MCAAに基づく権限ある当局間の交換には使用されず、国内報告において、報告暗号資産交換業者等が権限ある当局に対して報告を行うことが義務付けられている場合、この要素を使用できる。このような場合、国内で定義された識別番号を通じてメッセージを送信する報告暗号資産交換業者等を識別する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
TransmittingCountry		2文字	iso:CountryCode_Type	Validation

この要素は、CARFメッセージを送信する権限ある当局の国・地域を識別する。ISO 3166-1 Alpha 2 規格に基づく 2 文字のアルファベットの国コード及び国名リスト¹ を使用する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
ReceivingCountry		2文字	iso:CountryCode_Type	Validation

この要素は、CARFメッセージを受信する権限ある当局の国・地域を識別する。ISO 3166-1 Alpha 2 規格に基づく 2 文字のアルファベットの国コード及び国名リストを使用する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
MessageType			carf:MessageType_EnumType	Validation

この要素は、送信されるメッセージタイプを記載する。CARFにより交換されるメッセージにおいて、「CARF」のみ、このフィールドで唯一、入力することができる。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Warning		1~4,000文字	stf: StringMin1Max4000_Type	Optional

この要素は、CARF メッセージの内容の使用に関する特定の注意事項（例えば、データ交換の根拠となる文書や条約の条件など）を入力できる自由記載フィールドである。

¹ 以下の免責事項は、CARF スキーマにおける ISO 国コードリストを使用する全ての事項についての言及である。実用上の理由から、このリストは ISO3166-1 国リストに基づいている。このリストの使用は、記載された地域の法的地位に関する OECD の見解を一切表明するものではない。また、その内容は、いかなる地域の地位や主権、国際的な国境や境界線の画定、及びいかなる地域、都市、地域の名称についても、何ら影響を与えるものではない。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Contact		1~4,000文字	stf: StringMin1Max4000_Type	Optional

この要素は、メッセージの送信者に関する特定の連絡先情報を入力できる自由記載フィールドである。

国際的な情報交換において、この要素には送信する権限ある当局の連絡先情報が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
MessageRefID		1~170文字	stf: StringMin1Max170_Type	Validation

この要素は、送信者が作成した一意のメッセージ識別子を捕捉する自由記載フィールドであり、送信される特定のメッセージを識別する。この識別子により、送信者と受信者の双方が、後で疑問が生じた場合にメッセージを特定できる。メッセージ参照ID (Message RefID) は、送信する国・地域の国コードで始まり、次に報告対象期間の年、次に受信する国・地域の国コード、そして一意の識別子が続く形式でなければならない。このような識別子の例は、後続の「訂正」セクションに記載されている。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
MessageTypeIndic			carf: CARFMessageTypeIndic_EnumType	Validation

この要素は、送信される情報の種類、すなわち、それが新規の情報であるか、またはメッセージが以前に送信された情報を訂正または削除しようとするものであるかを記載するものである。設定可能な値は以下のとおり：

- CARF701 - 新規の情報を含む。
- CARF702 - 以前送信した情報の訂正/削除を含む。メッセージタイプ識別子 (MessageTypeIndic) がCARF702の場合、文書タイプ識別子 (DocTypeIndic) には訂正 (OECD2) または削除 (OECD3)、あるいはその両方を含めることはできるが、新規 (OECD1) を含めることはできない。なお、RCASPの文書タイプ識別子にはOECD0 (再送) を含めることができる。
- CARF703 - 報告すべきデータがない (NIL報告) ことを通知するメッセージ。以下の場合にCARF703が選択される：
 - a) 国際的な文脈において、送信する国・地域が受信する国・地域に対し、当該メッセージに関連する報告対象期間について、交換すべき暗号資産等取引実施者に関するデータがないことを伝達する場合。この場合、CARF Body要素は省略される。
 - b) 国内の文脈において、報告暗号資産交換業者等が報告すべき情報がない場合。この場合、CARF Bodyは報告暗号資産交換業者等に関する情報のみを記載する。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
ReportingPeriod			xsd:date	Validation

この要素は、メッセージに関連する報告期間（通常は課税年度）の最終日をyyyy-MM-DD形式で識別する。例えば、情報が2027年12月31日に終了する報告期間に関連する場合には、このフィールドには「2027-12-31」と入力される。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Timestamp			xsd:dateTime	Validation

この要素は、メッセージが作成された日時を識別する。この要素はホストシステムによって自動的に入力されることが想定されている。使用形式は yyyy-MM-DD'T' hh:mm:ss.nnn となり、秒以下の小数点以下も使用可能（この場合、ミリ秒は3桁で提供される。上記フォーマットの「.nnn」参照）。例：2027-03-15T09:45:30 または 2027-03-15T09:45:30.789（ミリ秒ありの場合）。

II. 組織当事者タイプ (Organisation Party Type)

組織当事者タイプは、CARF XMLスキーマに含めるべき情報を定義する。これは、特に報告暗号資産交換業者等、または暗号資産等取引実施者である事業体に関連する。

以下の要素で構成されており、詳細は後述：

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
ResCountryCode		2文字	iso:CountryCode_Type	Validation

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
TIN		1~200文字	carf:TIN_Type	Validation

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
IN		1~200文字	carf: OrganisationIN_Type	Optional (Mandatory)

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
IIN		1~200文字	carf: IndividualIN_Type	Optional (Mandatory)

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Name		1~200文字	carf: NameOrganisation_Type	Validation

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Address			carf: Address_Type	Validation

ResCountryCode

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
ResCountryCode		2文字	iso:CountryCode_Type	Validation

この反復可能な要素には、事業体の居住地国コードを記載する。事業体の暗号資産等取引実施者の場合、これは常に存在し、CARFの特定手続要件に基づいて特定された税務上の居住地国・地域に対応する必要がある。複数の税務上の居住地国・地域が特定された場合、それら全ての国・地域を報告する必要がある。

事業体の報告暗号資産交換業者等の場合、居住地国コードは、CARFに基づく報告目的で当該報告暗号資産交換業者等が報告義務を負う送信国・地域に対応する必要がある。

納税者番号 (TIN_Type)

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
TIN		1~200文字	carf:TIN_Type	Validation

この反復可能な要素は、事業体の居住地国・地域の権限ある当局が使用する納税者番号 (TIN) を提供する。報告対象国・地域からTINが発行されていない、または報告対象国・地域の国内法でTINの収集が義務付けられていないため、事業体の暗号資産等取引実施者がTINを保有していない場合、値「NOTIN」を入力し、Unknown属性 (下記参照) を「true」に設定する必要がある。事業体の報告暗号資産交換業者等である場合、送信する権限ある当局がTINを把握していないときは、値に「NOTIN」を入力し、Unknown属性 (下記参照) を「true」に設定する必要がある。さらに、複数のTINが提供される場合、提供された要素はいずれも「Unknown」としてフラグ付けできない。この要素は、事業体の報告暗号資産交換業者等と事業体の暗号資産等取引実施者の双方において必須である。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
TIN	issuedBy	2文字	iso:CountryCode_Type	Optional (Mandatory)

この属性には、TINを発行した国・地域を記載する。TIN要素が「Unknown」としてフラグ付けされていない限り、常に提供されなければならない。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
TIN	unknown	1~4文字	xsd:Boolean	Optional (Mandatory)

この属性には、TINが利用できない、または存在しない場合に記載する必要がある。Unknownとしてフラグ付けされたTIN要素に値が入力されていても、その値は破棄される。Trueの値は「true」及び「1」である。

事業体 IN (OrganisationIN_Type)

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
IN		1~200文字	carf:OrganisationIN_Type	Optional (Mandatory)

事業体番号や事業体識別番号 (EIN) など、他の IN が利用可能な場合、この要素を提供 (及び繰り返し) することができる。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
IN	issuedBy	2文字	iso:CountryCode_Type	Optional

この属性には、INを発行した国・地域を記載する。INの発行国・地域が不明な場合、この要素は省略可能である。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
IN	INType	2文字	carf:INType_EnumType	Optional

この属性には、以下の中から送信する識別番号の種類を記載する：

- (1) LEI：金融取引に参加する事業体を識別する一意のグローバル識別子であり、ISO 17442規格に基づく20桁の英数字コードで構成される事業体識別子 (Legal Entity Identifier) の報告に用いるもの。
- (2) EIN：事業体識別番号の報告に用いるもの。
- (3) BRN：事業者登録番号の報告に用いるもの。または
- (4) その他。

Individual IN

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
IIN		1~200文字	carf:IndividualIN_Type	Optional (Mandatory)

[EU固有] 事業体の報告暗号資産交換業者等に関して個人識別番号が利用可能な場合、この要素を提供する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
IIN	issuedBy	2文字	iso:CountryCode_Type	Optional (Mandatory)

この属性には、IINを発行した国・地域を記載する。発行国・地域が不明な場合、この要素は省略可能である。

Organisation Name

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Name		1~200文字	carf:NameOrganisation_Type	Validation

この要素には、定款または類似の文書に記載されている、事業体の国内での名称を含む、事業体の正式名称を記載する必要がある。

住所 (Address_Type)

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
CountryCode		2文字	iso:CountryCode_Type	Validation

この要素には、事業体（または個人）の住所に関連付けられた国コードを記載する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
AddressFix			carf:AddressFix_Type	Validation

この要素には、定型の住所情報の入力が必要である。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
AdditionalAddressInfo		1~4,000文字	stf:StringMinMax4000_Type	Optional

この要素には、定型の住所情報に入力できない場合に限り、定型の住所情報に加えて入力することができる。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Address	legalAddressType		carf:OECDLegalAddressType_EnumType	Optional

OECDLegalAddressType_EnumType

これは住所の属性に対するデータ形式である。その住所の法的性格（居住用、事業用など）を示すために使用される。設定可能な値は以下のとおり：

- OECD301= 居住用もしくは事業用
- OECD302= 居住用
- OECD303= 事業用
- OECD304= 登記上の事務所
- OECD305= 詳細不明

住所固定 (AddressFix_Type)

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Street		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional (Mandatory)

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
BuildingIdentifier		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional (Mandatory)

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
SuiteIdentifier		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional (Mandatory)

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
FloorIdentifier		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional (Mandatory)

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
DistrictName		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional (Mandatory)

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
POB		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional (Mandatory)

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
PostCode		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional (Mandatory)

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
City		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Validation

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
CountrySubentity ²		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional (Mandatory)

上記の要素はAddressFixタイプを構成する。「City」要素はスキーマの検証のために必要なものである。その他の要素は、存在する場合には常に含める必要がある。

III. 個人当事者タイプ (Person Party Type)

本セクションの要素は、報告暗号資産交換業者等、暗号資産等取引実施者（個人）及び報

² 州、地域、または県を表する

告対象である暗号資産等取引実施者（事業体）の実質的支配者に関する識別情報の提供のために使用される。この複合型は以下の6つの要素で構成され、詳細は下記のとおり：

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
ResCountryCode		2文字	iso:CountryCode_Type	Validation

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
TIN		1～200文字	carf:TIN_Type	Validation

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
IIN		1～200文字	carf: IndividualIN_Type	

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Name			carf:NamePerson_Type	Validation

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Address			carf:Address_Type	Validation

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Nationality			iso:CountryCode_Type	Optional (non-CARF)

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
BirthInfo				Validation

ResCountryCode

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
ResCountryCode		2文字	iso:CountryCode_Type	Validation

この反復可能な要素は、暗号資産等取引実施者（個人）（または報告対象となる実質的支配者）及び報告暗号資産交換業者等（個人）の居住地国コードを記載するものであり、全てのデータレコードにおいて必須である。報告対象である暗号資産等取引実施者（個人）または実質的支配者については、CARF の特定手続要件に基づき特定された税務上の居住地（報告対象国・地域の国内法で定められた条件に基づき、個人が税務上の「居住者」として扱われるべき税務上の居住地を含む）に対応する国・地域と一致する必要がある。当該国内法には国内税法において包括的課税（完全納税義務）の根拠となる国・地域への帰属形態、並びに国・地域の税法に基づき当該国・地域の居住者とみなされる場合（例：外交官その他の政府職員）が含まれる。複数の税務上の居住地国・地域が特定された場合には、それら全ての国・地域を報告する必要がある。

個人の報告暗号資産交換業者等の場合、居住地国コードは、CARFに基づく報告目的で当該個人の報告暗号資産交換業者等が関連性（Nexus）を有する国・地域に対応するものとする。

TIN Type

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
TIN		1~200文字	carf:TIN_Type	Validation

この反復可能な要素は、納税者番号（TIN）を提供し、上記セクションIIで定められた構造に従う。これは、個人の居住地国・地域の税務当局が使用するTINを反映する。暗号資産等取引実施者（個人）または実質的支配者が、報告対象国・地域からTINが発行されていない、または当該国・地域の国内法でTINの収集を義務付けられていないため、TINを保有していない場合、値に「NOTIN」を入力し、Unknown属性（下記参照）を「true」に設定しなければならない。報告暗号資産交換業者等（個人）の場合、送信する権限ある当局がTINを把握していないときは、値に「NOTIN」を入力し、Unknown属性（下記参照）を「true」に設定しなければならない。さらに、複数のTINが提供される場合、提供された要素はいずれも「Unknown」としてフラグ付けすることはできない。この要素は、報告暗号資産交換業者等（個人）、暗号資産等取引実施者（個人）及び実質的支配者において必須である。

Individual IIN

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
IIN		1~200文字	carf:IndividualIIN_Type	Optional (Mandatory)

[EU固有] 個人の報告暗号資産交換業者等に関して個人の識別番号が利用可能な場合、この要素を提供する必要がある。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
IIN	issuedBy	2文字	iso:CountryCode_Type	Optional (Mandatory)

この属性には、IINを発行した国・地域を記載する。発行国・地域が不明な場合、この要素は省略可能である。

NamePerson_Type

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Name			carf:NamePerson_Type	Validation

この要素は、出生時の名前と結婚後の名前の両方を報告することを可能とする。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Name	nameType		Stf:OECDNameType_Enum_Type	Optional

この属性は、特定の氏名の種類を示す識別子である。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
PrecedingTitle		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Title		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
FirstName		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Validation

この要素は、CARFスキーマにおいて、個人の報告暗号資産交換業者等、暗号資産等取引実施者及び実質的支配者を識別するために必要である。名前（ファーストネーム）がない場合、ここではイニシャルまたは「NFN」を使用することが可能である。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
FirstName	xn1NameType	1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
MiddletName		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional

この要素は、個人の名ドルネームを入力することを可能とする。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
MiddletName	xn1NameType	1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
NamePrefix		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
NamePrefix	xn1NameType	1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
LastName		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Validation

この要素は必須である。このフィールドには、個人の報告暗号資産交換業者等、暗号資産等取引実施者または実質的支配者が合法的に使用する敬称（Prefix）または称号（Suffix）を含めることができる。

この要素は文字列であるため、自由形式の名前や二重姓に使用することも可能であるが、可能な限り構造的な「FirstName」及び「LastName」の各フィールドを使用すべきである。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
LastName	xn1NameType	1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
GenerationIdentifier		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Suffix		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
GeneralSuffix		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional

住所 (Address_Type)

住所要素は、組織当事者タイプに関して前述したものと同一要素で追加構成されている。

Nationality

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Nationality			iso:CountryCode_Type	Optional (non-CARF)

Nationality (国籍) 要素は CARF スキーマにおいて報告されてはならない。

BirthInfo

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
BirthInfo				Validation

Birth Info(出生情報)要素には、報告対象の個人の報告暗号資産交換業者等、暗号資産等取引実施者及び実質的支配者に関する出生情報が含まれる。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
BirthDate			xsd:date	Validation

この要素は必須であり、生年月日を識別する。データ形式は yyyy-MM-DD である。個人の報告暗号資産交換業者等に関して入力されるデフォルト値は「1900-01-01」である。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
BirthPlace			carf:BirthPlace_Type	Optional (Mandatory)

この要素は、出生地に関する情報を提供するために使用される。

出生地 (BirthPlace_Type)

これは、報告対象である暗号資産等取引実施者（個人）または実質的支配者に関する出生地情報を提供するデータ型である。以下の3つの要素は、報告暗号資産交換業者等が国内法に基づき情報を取得・報告する義務を負い、かつ電子的に検索可能な記録として入手可能な場合に、CARFに従って提供される。この場合、最低限、出生地のCity（市区町村）及びCountry（国）も併せて提供しなければならない。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
City		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Validation

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
CitySubentity		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Optional

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
CountryInfo				Validation

この必須データ項目では、「CountryCode（現在の国・地域）」（2文字の国コードで識別）と「FormerCountryName（旧国・地域）」（名称で識別）のいずれかを選択する。出生地を報告する場合は、City（市区町村）、あるいはCity（市区町村）及びSubentity（郡等）の情報と併せて提供する必要がある。もし現在存在しない国で生まれた場合は、過去の国名要素を使用する。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
CountryCode		2文字	iso:CountryCode_Type	Validation (choice)

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
FormerCountryName		1~200文字	stf: StringMin1Max200_Type	Validation (choice)

IV. CARF Body

CARF Body要素には、報告対象となる報告暗号資産交換業者等、暗号資産等取引実施者（CARFの特定手続に基づいて特定されたある暗号資産等取引実施者（事業体）に係る実質的支配者を含む）、及び当該暗号資産等取引実施者が関与した関連取引に関する情報が含まれる。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
CARFBody			carf:CARFBody_Type	Optional (Mandatory)

CARF Body 要素は、以下の 2つの訂正可能要素で構成される。詳細については、以下で後述。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
RCASP			carf:RCASP_Type	Validation

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
CryptoUsers			carf:CryptoUsers_Type	Optional (Mandatory)

RCASP (報告暗号資産交換業者等)

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
RCASP			carf:RCASP_Type	Validation

RCASP要素は、報告暗号資産交換業者等 (Reporting Crypto-Asset Service Provider) 及び報告国・地域との関連性(Nexus)を特定する。以下の4つの要素で構成され、詳細は後述する。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
RCASP ID				Validation (choice)

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Nexus			carf:Nexus_EnumType	Optional (Mandatory)

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
OtherNexus				Optional

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
DocSpec			carf:DocSpec_Type	Validation

DocSpecは、送信されるCARFメッセージ内の特定の報告を識別する。これにより、訂正が必要な報告の特定が可能となる（下記の「訂正」に関するガイダンスも参照）。

RCASP ID

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
RCASP ID				Validation

RCASP ID要素は、報告暗号資産交換業者等を識別し、報告暗号資産交換業者等が事業者であるか個人であるかに応じて、事業者要素と個人要素のいずれかを選択できる。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Entity			carf:OrganisationParty_Type	Validation (choice)

Entity (事業者) 要素は、上記セクションIIに定めるOrganisation Party Type (組織当事者タイプ) に従う。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Individual			carf:PersonParty_Type	Validation (choice)

Individual (個人) 要素は、上記セクション III に定めるPerson Party Type (個人当事者タ

イプ) に従う。

Nexus

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Nexus			carf:Nexus_EnumType	Optional (Mandatory)

Nexus要素には、報告暗号資産交換業者等がCARFに基づき報告を行う根拠となる（最も強い）関連性（Nexus）に関する情報が含まれる。関連する報告根拠を示すため、以下の7つの値のいずれかを選択する必要がある：

- CARF901 - 税務上の居住地

この値は、事業体または個人の報告暗号資産交換業者等が、税務上の居住地である国・地域で報告を行うことを示す。

- CARF902 - 設立地

この値は、事業体である報告暗号資産交換業者等が、その設立または組織化の根拠がある国・地域において報告を行い、かつ、当該国・地域において法人格を有するか、または当該国・地域の権限ある当局に対し、当該事業体の所得に関する税務申告書または税務情報申告書を提出する義務を負っていることを示す。

- CARF903 - 管理支配地

この値は、報告暗号資産交換業者等を報告する事業体が、実質的な管理が行われている国・地域で報告を行うことを示す。

- CARF904 - 事業所所在地

この値は、事業体または個人である報告暗号資産交換業者等が、通常の事業所を有する国・地域で報告を行うことを示す。

- CARF905 - 支店

この値は、報告暗号資産交換業者等が、報告対象となる国・地域内に所在する支店を通じて報告を行うことを示す。

- CARF906 - 認可

[EU固有] この値は、報告暗号資産交換業者等が、規則2023/1114に基づき認可を受けたEU加盟国において報告を行うことを示す。

- CARF907 - リモートサービス

[EU固有] この値は、規則2023/1114に基づき認可を受けていない報告暗号資産交換業者等が、単一登録（single registration）を行ったEU加盟国において報告を行うことを示す。

その他の関連性

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
OtherNexus				Optional

この任意要素は、国・地域が国内報告目的または関連するパートナー国・地域への通知のために任意に使用できるもので、報告暗号資産交換業者等が他の国・地域において同等またはより強い関連性（Nexus）を有し、CARFに基づく報告が当該他国・地域においてCARFに基づき報告が行われることを示すものである。この要素は以下の2つのサブ要素で構成される：

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
OtherNexus	Nexus		carf:Nexus_EnumType	Validation

この要素は、他の国・地域で報告が行われるNexus（関連性）のタイプを反映する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
OtherNexus	ResCountryCode	2文字	iso:CountryCode_Type	Validation

この要素には、CARF に基づく報告が行われている他の国・地域の居住国コードが含まれる。

Crypto Users

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
CryptoUsers				Optional (Mandatory)

この要素には、各暗号資産等取引実施者（特定の暗号資産等取引実施者（事業体）の実質的支配者を含む）の識別情報、及び暗号資産等取引実施者が実施したCARFに基づく報告対象となる関連取引に関する情報が含まれる。報告暗号資産交換業者等がCARFの目的上、送信を行う国・地域にNexus（関連性）を有することを示すことのみを目的として、国・地域間の合意に基づき報告が交換される場合には、本要素に暗号資産等取引実施者情報を記載する必要はない。

この訂正可能要素は以下の項目で構成される。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
User ID			carf:UserID_Type	Validation

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
ControllingPerson			carf:ControllingPerson_Type	Optional (Mandatory)

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
RelevantTransactions			carf:RelevantTransactions_Type	Validation

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
DocSpec			carf:DocSpec_Type	Validation

ユーザーID

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
User ID			carf:UserID_Type	Validation

ユーザー ID 要素は、暗号資産等取引実施者を識別し、暗号資産等取引実施者が事業体であるか個人であるかによって、事業体要素と個人要素のいずれかを選択できる。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Entity			carf:OrganisationParty_Type	Validation (choice)

Entity（事業体）要素は、上記セクションIIに定めるOrganisation Party Type（組織当事者タイプ）に従う。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Individual			carf:PersonParty_Type	Validation (choice)

Individual（個人）要素は、上記セクション III に定めるPerson Party Type（個人当事者タイプ）に従う。

実質的支配者

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
ControllingPerson			carf:ControllingPerson_Type	Optional (Mandatory)

報告対象となる実質的支配者の氏名を記載する。報告対象の実質的支配者が複数いる場合、本要素を繰り返すことで、当該報告対象者全員の氏名を報告する必要がある。

報告対象の実質的支配者の居住地として特定された報告対象国・地域ごとに、個別に報告を行う必要がある。ただし、当該報告には、各報告対象国・地域の報告対象者（暗号資産等取引実施者（事業体）及びその他の関連データを含む）の情報のみを含めるものとする。

暗号資産等取引実施者（事業体）が報告対象であり、かつ報告対象である実質的支配者が1名以上存在する場合において、当該事業体及び当該実質的支配者の双方が同一の報告対象国・地域に所在する場合には、当該情報は、以下のいずれかの方法で報告を行うことができる。

(i) 報告対象の実質的支配者を含む「暗号資産等取引実施者（事業体）」としてまとめて報

告、または

(ii) 報告対象の「暗号資産等取引実施者（事業体）」と報告対象の「実質的支配者」を別々に報告。

いずれの実質的支配者も当該事業体と同じ報告対象国・地域に居住していない場合であっても、暗号資産等取引実施者（事業体）に関する情報は、報告対象である事業体として別途報告されなければならない。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Individual			carf:PersonParty_Type	Validation

Individual（個人）要素は、上記セクション III に定めるPerson Party Type（個人当事者タイプ）に従う。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
CtrlgPersonType			carf:CtrlgPersonType_EnumType	Validation

この要素は、属性「ControllingPersonType」を用いて、各実質的支配者（「CP」）の種類を識別することを可能とする。この属性には以下の値が設定される。この要素は繰り返し可能である。

- CARF801 - 事業体の実質的支配者 - 所有権
- CARF802 - 事業体の実質的支配者 - その他の手段
- CARF803 - 事業体の実質的支配者 - 代表取締役等（上級管理職）
- CARF804 - 法的アレンジメント（取り決め）の実質的支配者 - 信託 - 委託者
- CARF805 - 法的アレンジメント（取り決め）の実質的支配者 - 信託 - 受託者
- CARF806 - 法的アレンジメント（取り決め）の実質的支配者 - 信託 - 保護者
- CARF807 - 法的アレンジメント（取り決め）の実質的支配者 - 信託 - 受益者
- CARF808 - 法的アレンジメント（取り決め）の実質的支配者 - 信託 - その他の者
- CARF809 - 法的アレンジメント（取り決め）の実質的支配者 - その他 - 設定者相当者
- CARF810 - 法的アレンジメント（取り決め）の実質的支配者 - その他 - 受託者相当者
- CARF811 - 法的アレンジメント（取り決め）の実質的支配者 - その他 - 保護者相当者
- CARF812 - 法的アレンジメント（取り決め）の実質的支配者 - その他 - 受益者相当者
- CARF813 - 法的アレンジメント（取り決め）の実質的支配者 - その他 - その他の者相当者

関連取引

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
RelevantTransactions			carf:RelevantTransactions_Type	Validation

関連取引 (Relevant Transactions) 要素には、報告期間中に暗号資産等取引実施者が行った各関連取引に関する情報が暗号資産ごとに記載される。この要素は、CARFに基づき報告対象となる異なる取引区分を示す複数の要素と、関連暗号資産の種類を特定する属性から構成されている。そのため、関連取引要素は、暗号資産等取引実施者が報告期間中に行った関連暗号資産の種類ごとに繰り返して報告を行う必要がある。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
CryptoAsset		1-200文字	Stf:StringMin1Max200_Type	Validation

CryptoAsset (暗号資産) 要素には、取引情報の対象となる関連暗号資産の名称を含める必要がある。暗号資産の名称は、可能な限りデジタルトークン識別子 (DTI) に準拠して報告しなければならない。暗号資産の命名規則 (naming convention) に関する詳細な仕様は、OECDウェブサイトで公開される [リンクは開発後に追加]。OECDウェブサイトに掲載されていない暗号資産については、報告暗号資産交換業者等は、利用可能な他の一般的な命名規則に依拠することができる。暗号資産に関して命名規則が存在しない場合、報告暗号資産交換業者等は自由形式のテキストを使用して暗号資産の名称を報告することができる。

Crypto to Crypto In (複数の暗号資産間の交換による暗号資産の取得)

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
CryptotoCryptoIn				Optional (Mandatory)

Crypto to Crypto In (複数の暗号資産間の交換による取得) 要素は、報告期間中における他の関連暗号資産との交換による関連暗号資産の取得に関する情報を反映する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
ExchangeType			carf:ExchangeType_EnumType	Optional

該当する場合、任意項目である「Exchange Type (交換の種類)」を用いて、報告暗号資産交換業者等は特定の種類の交換取引に関する追加情報を提供できる。設定可能な値は以下のとおり：

- CARF401 - ステーキング
- CARF402 - 暗号資産ローン
- CARF403 - ラッピング
- CARF404 - 担保

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
NumberOfTransactions			xsd:integer	Validation

NumberOfTransactions（取引件数）要素は、関連暗号資産を他の関連暗号資産との交換により取得した取引の件数に関する情報を反映する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Amount			cfc:MonAmt_Type	Validation

Amount（金額）要素は、取得した関連暗号資産の公正市場価値の合計額（取引手数料控除後）を反映する。金額は、該当通貨の小数点第2位まで入力する。例えば、USD 1,000 は 1000.00 と入力する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Amount	currCode	3文字	iso:currCode_Type	Validation

全てのAmount（金額）要素には、ISO 4217 アルファ 3 規格に基づく適切な 3 文字の通貨コードを付記する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
NumberOfUnits			xsd:decimal	Validation

NumberOfUnits（ユニット数）要素は、取得した関連暗号資産の数量を反映するものであり、関連する場合は小数点第6位まで報告する必要がある。

Crypto to Crypto Out（複数の暗号資産間の交換による暗号資産の処分）

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
CryptotoCryptoOut				Optional (Mandatory)

CryptotoCryptoOut（複数の暗号資産間の交換による処分）要素は、報告期間中における他の関連暗号資産との交換による関連暗号資産の処分に関する情報を反映する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
ExchangeType			carf:ExchangeType_EnumType	Optional

該当する場合、任意項目である「Exchange Type（交換の種類）」を用いて、報告暗号資産交換業者等は特定の種類の交換取引に関する追加情報を提供できる。設定可能な値は以下のとおり：

- CARF401 - ステーキング
- CARF402 - 暗号資産ローン
- CARF403 - ラッピング

- CARF404 - 担保

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
NumberOfTransactions			xsd:integer	Validation

NumberOfTransactions（取引件数）要素は、関連暗号資産を他の関連暗号資産との交換により処分した取引の件数に関する情報を反映する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Amount			cfc:MonAmnt_Type	Validation

Amount（金額）要素は、処分した関連暗号資産の公正市場価値の合計額（取引手数料控除後）を反映する。金額は、該当通貨の小数点第2位まで入力する。例えば、USD 1,000 は 1000.00 と入力する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Amount	currCode	3文字	iso:currCode_Type	Validation

全てのAmount（金額）要素には、ISO 4217 アルファ 3 規格に基づく適切な 3 文字の通貨コードを付記する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
NumberOfUnits			xsd:decimal	Validation

NumberOfUnits（ユニット数）要素は、処分した関連暗号資産の数量を反映するものであり、関連する場合は小数点第6位まで報告する必要がある。

Crypto to Fiat In (暗号資産と法定通貨間の交換による暗号資産の取得)

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
CryptoFiatIn				Optional (Mandatory)

CryptoFiatIn（暗号資産と法定通貨間の交換による暗号資産の取得）要素は、報告期間中における法定通貨との交換による関連暗号資産の取得に関する情報を反映する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
ExchangeType			carf:ExchangeType_EnumType	Optional

該当する場合、任意項目である「Exchange Type（交換の種類）」を用いて、報告暗号資産交換業者等は特定の種類の交換取引に関する追加情報を提供できる。設定可能な値は以下のとおり：

- CARF401 - ステーキング
- CARF402 - 暗号資産ローン

- CARF403 - ラッピング
- CARF404 - 担保

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
NumberOfTransactions			xsd:integer	Validation

NumberOfTransactions（取引件数）要素は、関連暗号資産を法定通貨との交換により取得した取引件数の情報を反映する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Amount			cfc:MonAmnt_Type	Validation

Amount（金額）要素は、法定通貨による関連暗号資産の取得に関して支払われた、取引手数料控除後の総額を反映する。金額は、当該通貨の小数点第2位まで入力する。例えば、1,000米ドルの場合は「1000.00」と入力する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Amount	currCode	3文字	iso:currCode_Type	Validation

全てのAmount（金額）要素には、ISO 4217 アルファ 3 規格に基づく適切な 3 文字の通貨コードを付記する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
NumberOfUnits			xsd:decimal	Validation

NumberOfUnits（ユニット数）要素は、取得した関連暗号資産の数量を反映するものであり、関連する場合は小数点第6位まで報告する必要がある。

Crypto to Fiat Out (暗号資産と法定通貨間の交換による暗号資産の処分)

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
CryptoFiatOut				Optional (Mandatory)

CryptoFiatOut要素は、報告期間中における法定通貨との交換による関連暗号資産の処分に關する情報を反映する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
ExchangeType			carf:ExchangeType_EnumType	Optional

該当する場合、任意項目である「Exchange Type（交換の種類）」を用いて、報告暗号資産交換業者等は特定の種類の交換取引に関する追加情報を提供できる。設定可能な値は以下のとおり：

- CARF401 - ステーキング

- CARF402 - 暗号資産ローン
- CARF403 - ラッピング
- CARF404 - 担保

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
NumberOfTransactions			xsd:integer	Validation

NumberOfTransactions（取引件数）要素は、関連暗号資産を法定通貨との交換により処分した取引件数の情報を反映する。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Amount			cfc:MonAmnt_Type	Validation

Amount（金額）要素は、関連暗号資産の処分に伴い法定通貨で受領した取引手数料控除後の総額を反映する。金額は該当通貨の小数点第2位まで入力する。例：USD 1,000 は 1000.00 と入力する。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Amount	currCode	3文字	iso:currCode_Type	Validation

全てのAmount（金額）要素には、ISO 4217 Alpha 3規格に基づく適切な3文字の通貨コードを付記する必要がある。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
NumberOfUnits			xsd:decimal	Validation

NumberOfUnits（ユニット数）要素は、処分した関連暗号資産の数量を反映するものであり、関連する場合は小数点第6位まで報告する必要がある。

Crypto Transfer In (暗号資産の受入 (入庫))

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
CryptoTransferIn			carf:RelevantTransactions_Type	Optional (Mandatory)

Crypto Transfer In（暗号資産の受入（入庫））要素は、報告期間中に行われた関連暗号資産の移転（入庫）に関する情報を反映する。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
TransferType			carf:TransferType_EnumType	Validation

TransferType要素は、報告対象の暗号資産等取引実施者（User）が移転（入庫）した暗号資産の移転の種類に関する情報を反映する。設定可能な値は以下のとおり：

- CARF501 - エアドロップ

- CARF502 - ステーキング報酬
- CARF503 - マイニング収入
- CARF504 - 暗号資産ローン
- CARF505 - 他のRCASPからの移管
- CARF506 - 物品またはサービスの販売
- CARF507 - 担保
- CARF508 - その他
- CARF509 - 不明（報告暗号資産交換業者等が移転の種類を把握していない場合のデフォルト値として選択される）

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
NumberOfTransactions			xsd:integer	Validation

NumberOfTransactions（取引件数）要素は、関連暗号資産の移転（入庫）に関する取引件数の情報を反映する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Amount			cfc:MonAmnt_Type	Validation

Amount（金額）要素は、取引手数料控除後の、移転（入庫）した関連暗号資産の公正市場価値の総額を反映する。金額は、該当通貨の小数点第2位まで入力する。例えば、1,000米ドルは1000.00と入力する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Amount	currCode	3文字	iso:currCode_Type	Validation

全てのAmount（金額）要素には、ISO 4217 アルファ 3 規格に基づく適切な 3 文字の通貨コードを付記する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
NumberOfUnits			xsd:decimal	Validation

NumberOfUnits（ユニット数）要素は、移転（入庫）した関連暗号資産の数量を反映するものであり、関連する場合は小数点第6位まで報告する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
AltValuation			carf:AltValuation_EnumType	Optional (Mandatory)

AltValuation（代替評価）要素には、報告暗号資産交換業者等が関連暗号資産の評価に使用した代替的な評価方法を記載する必要がある。設定可能な値は以下のとおり：

- CARF1001 - 簿価
- CARF1002 - 第三者評価額
- CARF1003 - 最近のRCASP評価
- CARF1004 - RCASPによる合理的な見積もり

Crypto Transfer Out (暗号資産の移転 (出庫))

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Crypto Transfer Out				Optional (Mandatory)

Crypto Transfer Out (暗号資産の移転 (出庫)) 要素は、報告期間中に行われた関連暗号資産の移転 (出庫) に関する情報を反映する。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
TransferType			carf:TransferOutType_EnumType	Validation

TransferType要素は、報告対象の暗号資産等取引実施者が移転 (出庫) した暗号資産の移転の種類に関する情報を反映する。設定可能な値は以下のとおり：

- CARF601 - 他のRCASPへの振替
- CARF602 - 暗号資産ローン
- CARF603 - 既に報告済み報告対象小売決済取引以外の取引に使用される商品・サービスの購入
- CARF604 - 担保
- CARF605 - その他
- CARF606 - 不明 (報告暗号資産交換業者等が送金タイプを把握していない場合のデフォルト値として選択)

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
NumberOfTransactions			xsd:integer	Optional (Mandatory)

NumberOfTransactions (取引件数) 要素は、関連暗号資産の移転 (出庫) に関する取引件数の情報を反映する。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Amount			cfc:MonAmnt_Type	Validation

Amount (金額) 要素は、取引手数料控除後の、移転 (出庫) した関連暗号資産の公正市場価値の総額を反映する。金額は、該当通貨の小数点第2位まで入力する。例えば、1,000米ドルは1000.00と入力する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Amount	currCode	3文字	iso:currCode_Type	Validation

全てのAmount（金額）要素には、ISO 4217 アルファ 3 規格に基づく適切な 3 文字の通貨コードを付記する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
NumberofUnits			xsd:decimal	Validation

NumberofUnits（ユニット数）要素は、移転（出庫）した関連暗号資産の数量を反映するものであり、関連する場合は小数点第 6 位まで報告する必要がある。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
AltValuation			carf:AltValuation_EnumType	Optional (Mandatory)

AltValuation（代替評価）要素には、報告暗号資産交換業者等が関連暗号資産の評価に使用した代替的な評価方法を記載する必要がある。設定可能な値は以下のとおり：

- CARF1001 - 簿価
- CARF1002 - 第三者評価額
- CARF1003 - 最近のRCASP評価
- CARF1004 - RCASPによる合理的な見積もり

TransferWallet（自己管理型ウォレットアドレスへの移転）

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
TransferWallet				Optional (Mandatory)

TransferWallet（自己管理型ウォレットアドレスへの移転）要素は、報告対象となる暗号資産等取引実施者（ユーザー）による関連暗号資産の移転のうち、報告暗号資産交換業者等において、暗号資産サービスプロバイダーまたは金融機関に関連付けられていることが把握されていないウォレットアドレスへの移転に関する情報を反映する。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
Amount			cfc:MonAmnt_Type	Validation

Amount（金額）要素は、報告暗号資産交換業者等において、暗号資産サービスプロバイダーまたは金融機関に関連付けられていることが把握されていないウォレットアドレスに移転された関連暗号資産の公正市場価値の合計額を反映する。金額は、該当通貨の小数点第 2 位まで入力する。例えば、USD 1,000 は 1000.00 と入力する。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Amount	currCode	3文字	iso:currCode_Type	Validation

全てのAmount（金額）要素には、ISO 4217 アルファ 3 規格に基づく適切な 3 文字の通貨コードを付記する必要がある。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
NumberofUnits			xsd:decimal	Validation

NumberofUnits（ユニット数）は、報告暗号資産交換業者等において、暗号資産サービスプロバイダーまたは金融機関に関連付けられていることが把握されていないウォレットアドレスに移転された関連暗号資産の数量を反映するものであり、該当する場合、小数点第6位まで報告する必要がある。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
AltValuation			carf:AltValuation_EnumType	Optional (Mandatory)

AltValuation要素には、報告暗号資産交換業者等が関連暗号資産の評価に代替的な評価手法を用いた場合に、当該手法を含める必要がある。設定可能な値は以下のとおり：

- CARF1001 - 簿価
- CARF1002 - 第三者評価額
- CARF1003 - 最近のRCASP評価額
- CARF1004 - RCASPによる合理的な見積もり

RRPT（報告対象小売決済取引）

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
RRPT				Optional (Mandatory)

RRPT（報告対象小売決済取引）要素は、報告対象小売決済取引、すなわち、50,000 米ドルを超える価値の物品またはサービスに対する対価としての関連暗号資産の移転に関する情報を反映する（端数処理は考慮しない。つまり、50,001 米ドルの価値の物品またはサービスに対する対価としての移転は、報告対象小売決済取引とみなされる可能性がある）。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
NumberofTransactions			xsd:integer	Validation

NumberofTransactions（取引件数）要素は、関連暗号資産を含む報告対象小売決済取引の件数に関する情報を反映する。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Amount			cfc:MonAmnt_Type	Validation

Amount（金額）要素は、報告対象小売決済取引の対象となる関連暗号資産の公正市場価値の合計額（取引手数料控除後）を反映する。金額は、該当通貨の小数点第2位まで入力する。例えば、USD 1,000 は 1000.00 と入力する。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
Amount	currCode	3文字	iso:currCode_Type	Validation

全てのAmount（金額）には、ISO 4217 Alpha 3 規格に基づく適切な 3 文字の通貨コードを付記する必要がある。

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
NumberofUnits			xsd:decimal	Validation

NumberofUnits（ユニット数）要素は、報告対象小売決済取引の対象となる関連暗号資産の数量を反映するものであり、該当する場合は小数点第6位まで報告する必要がある。

訂正

はじめに

送付する国・地域が、報告暗号資産交換業者等に関する情報、または暗号資産等取引実施者に関する報告内容のいずれかに関して不正確な情報を認識した場合、訂正を行う必要がある。当該年度のCARF情報の交換前にエラーが発見された限りにおいては、本セクションに定める訂正は不要である。

ただし、CARF情報の交換後にエラーが発見された場合、本節に定めるガイダンスに従い、スキーマの一部について訂正を行う必要がある。特定の情報の訂正の報告を容易にするため、CARF XMLスキーマには「RCASP（報告暗号資産交換業者等）」と「Crypto Users（暗号資産等取引実施者）」という2つの訂正可能なタイプが用意されている。

技術的ガイダンス

このセクションでは、当初のデータと同様な方法で処理可能な、訂正済みデータファイルを送信して訂正を行う方法について説明する。本セクションにおける「訂正」には、レコードの削除も含まれる。

訂正対象の要素を特定するため、訂正可能な要素である「RCASP」及び「CryptoUsers」には、訂正に必要な情報を含む DocSpec型の要素（DocSpec_Type）が含まれている。

DocSpec タイプ

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
DocSpec			carf:DocSpec_Type	Validation

DocSpec要素は、送信されたCARFメッセージ内の特定の記載を識別する。これにより、訂正が必要なレコードを特定することが可能になる。DocSpec要素は以下の要素で構成される：

要素	属性	サイズ	入カタイプ	要件
DocTypeIndic			carf:OECDDocTypeIndic_EnumType	Validation

メッセージは、新規レコード（OECD1）または訂正及び/または削除（OECD2 及び/または OECD3）のいずれかを含めることができるが、両方を混在させることはできない。再送信（OECD0）は、RCASP要素が既に送信されている場合にのみ、当該要素に対して使用できる。再送信（OECD0）は以下の2つのケースで使用できる：

- 新規：ある報告期間に関して新たな暗号資産等取引実施者（ユーザー）が提供される場合で、かつ、RCASP要素が既に送信されている場合。
- 訂正/削除：暗号資産等取引実施者（ユーザー）要素が訂正（または削除）され、かつRCASP要素が既に送信済みであること、加えて、RCASP要素の訂正（または削除）が不要な場合。関連する全ての暗号資産等取引実施者情報（同一メッセージ内または過去のメッセージ内）を削除せずにRCASP要素のみを削除することはできない。

訂正メッセージにおいて、CryptoUsers要素が必須ではないことを考慮し、訂正可能な要素に対して以下のDocTypeIndicの組み合わせが許容される：

		CryptoUsers				
		No user	OECD1	OECD2	OECD3	OECD0
RCASP	OECD1					
	OECD2	OK		OK	OK	
	OECD3	OK			OK	
	OECD0			OK	OK	

訂正メッセージ内の訂正可能な要素に対するDocTypeIndicの組み合わせ

この要素は、送信されるデータのタイプを記載する。許容される値は次のとおり：

- OECD0 = 再送信データ
- OECD1 = 新規データ
- OECD2 = 訂正済みデータ
- OECD3 = データの削除
- OECD10 = 再送信のテストデータ
- OECD11 = 新規のテストデータ
- OECD12 = 訂正済みのテストデータ
- OECD13 = テストデータの削除

コードOECD10からOECD13は、合意されたテスト期間中のみ、またはテストに関する二国間の合意に基づいてのみ使用しなければならない。これは、権限ある当局がテストデータを「稼働(live)」データと混在することを避けるためである。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
DocRefID		1~200文字	carf:StringMin1Max200_Type	Validation

DocRefID は、文書（つまり、1 つのレコードとその全ての子要素）の一意の識別子です。訂正（または削除）を含む要素は、将来参照するために新しい一意の DocRefID を持つ必要がある。

要素	属性	サイズ	入力タイプ	要件
CorrDocRefID		1~200文字	carf:StringMin1Max200_Type	Optional

CorrDocRefIDは、訂正または削除対象の要素のDocRefIDを参照する。これは常に、直近に送信されたレコードの参照（DocRefID）を指さなければならない。

直近に送信されたレコードの参照ID（DocRefID）は、そのレコードが送信された最新のメッセージに含まれているものである必要がある。これにより、各訂正が前回のバージョンを完全に置き換えることになるため、一連の訂正又は変更を適切に処理することができる。

MessageRefID 及び DocRefID の一意性

メッセージとレコードを確実に識別・訂正するためには、MessageRefID 及び DocRefID は時間及び空間において一意である必要がある（つまり、同じ参照識別子を持つ他のメッセージやレコードが存在してはならない）。MessageRefID識別子には、送信者が特定のメッセージを識別するために使用するあらゆる情報を含めることができるが、先頭は送信する国・地域の国コード、報告対象期間の年、受信する国・地域の国コード、そして一意の識別子の順で構成されなければならない。

例：CA2023LU123456789

このMessageRefIDは、送信する権限ある当局がカナダであり、受領する権限ある当局はルクセンブルク、固有識別子は「123456789」であることを示している。

DocRefID 内の固有識別子は、送信する権限ある当局が CARF レコードを一意に識別するために使用され、送信国・地域の国コード、報告対象期間の年、固有識別子の順で構成される。

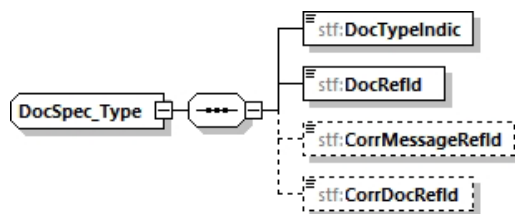
例：CA2023286abc123xyz

この DocRefID は、カナダが送信する国・地域であり、一意の識別子が「286abc123xyz」であることを示している。

MessageSpec、Corrections（訂正）、Cancellations（取消）

訂正メッセージには、将来の訂正も可能とするためにそれ自体に一意のMessageRefIDを含めなければならない。メッセージ全体を対象とする場合には、DocSpecタイプ（データ単位の訂正指示）に相当する項目は存在しない。

メッセージ全体を取り消すための要素は、MessageSpecには存在しない。したがって、メッセージの全体を取り消す場合には、誤ったメッセージに含まれる全てのレコードを削除するための訂正メッセージを送信する必要がある。

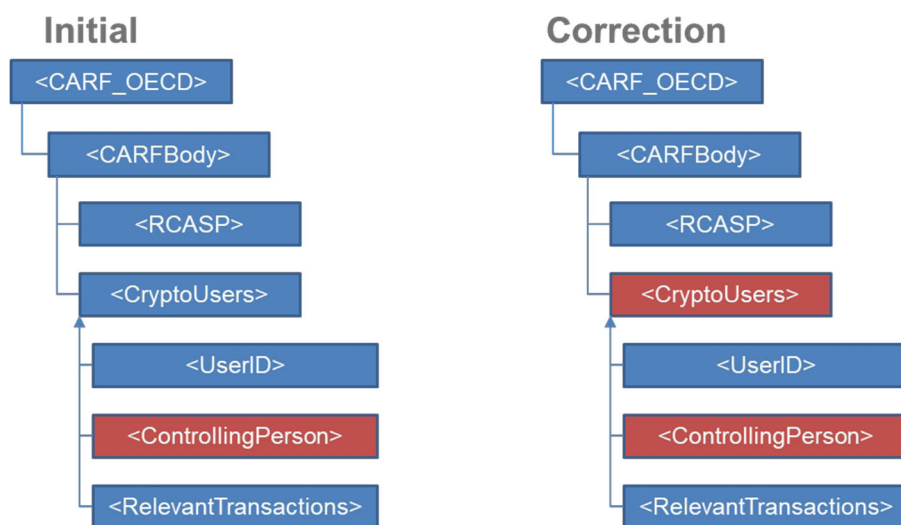


訂正の例

以下のセクションでは、具体的な訂正シナリオの例を2つ挙げ、それぞれに適用される訂正ルールについて説明します。

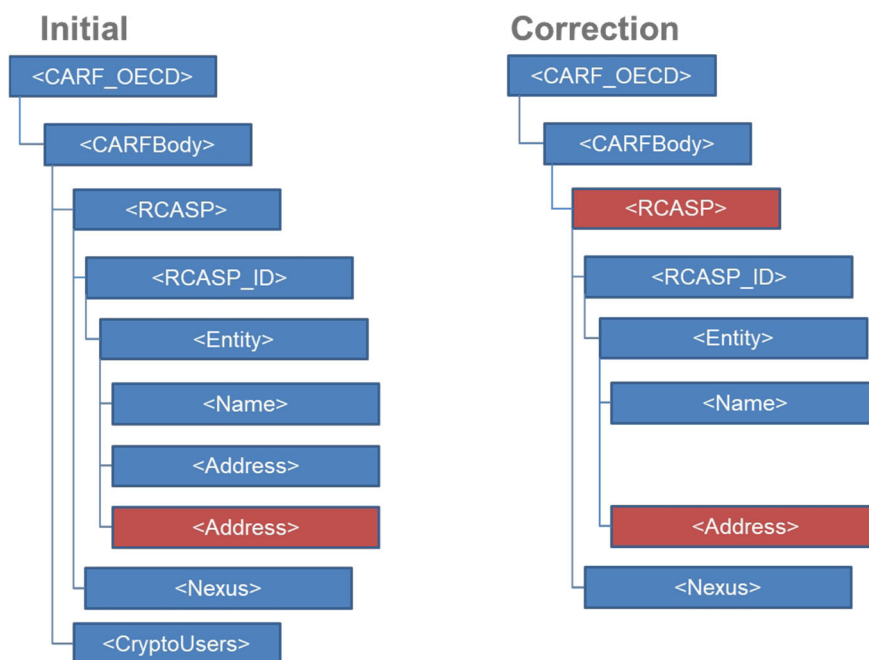
暗号資産等取引実施者（Crypto Users）の子要素の訂正

送信する権限ある当局は、報告暗号資産交換業者等（RCASP）及び暗号資産等取引実施者（Crypto Users）（ユーザーID、同一国・地域に居住する実質的支配者1名、関連取引要素で構成）を含む初期メッセージを送信する。その後、実質的支配者の住所を訂正する場合、送信する権限ある当局は初期メッセージの暗号資産等取引実施者の要素を訂正し、訂正後の実質的支配者データを含めて再送信しなければならない。その際、RCASPは必須項目であるため必ず含める必要があり、変更不要のユーザーID及び関連取引についても含める必要がある。下図はこの点を説明するものである。



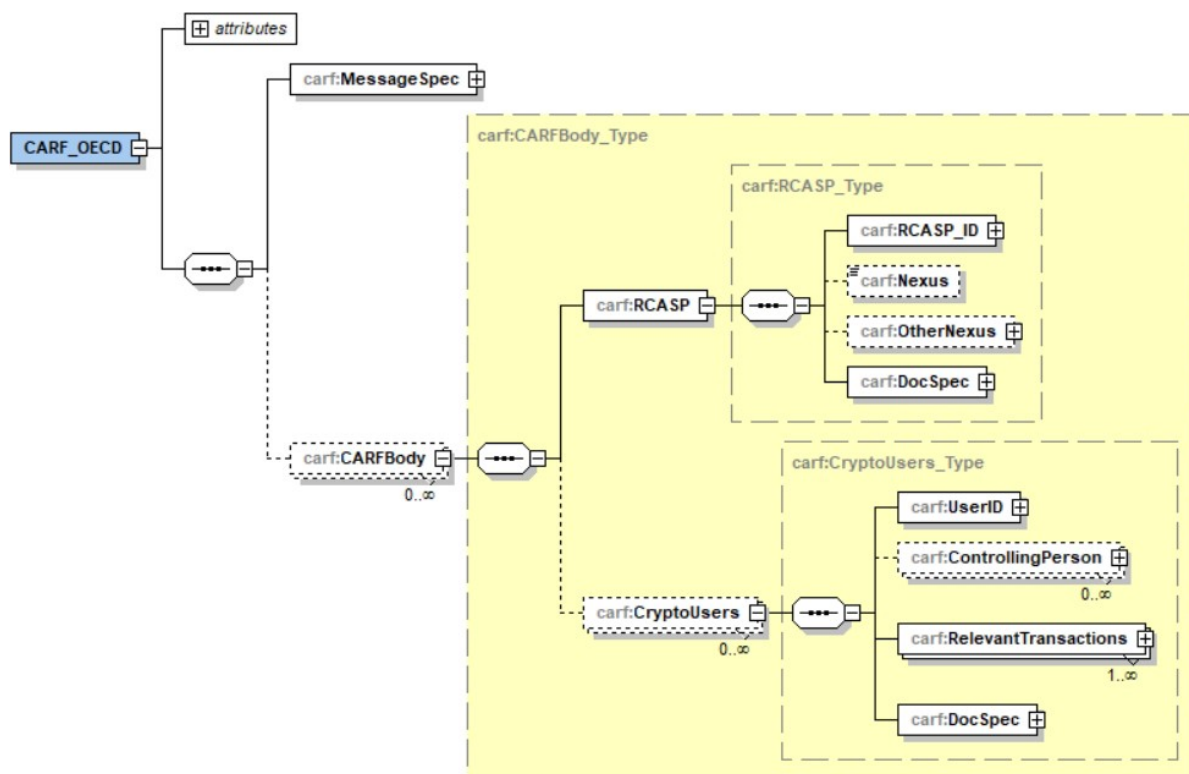
RCASPの子要素の削除

送信する権限ある当局は、2件の暗号資産等取引実施者（Crypto Users）の報告及び関連する2つの住所を有するRCASP（事業体）を記載した初期メッセージを送信する。その後、RCASPの2つ目の住所を削除する場合、送信する権限ある当局は初期メッセージのRCASPを訂正し、削除されるべき住所を除外した上で、残りの住所及びRCASP IDとNexus要素で構成される他の子要素を含めて再送信する必要がある。ただし、暗号資産等取引実施者の情報は再送信してはならない。下図はこの点を説明するものである。

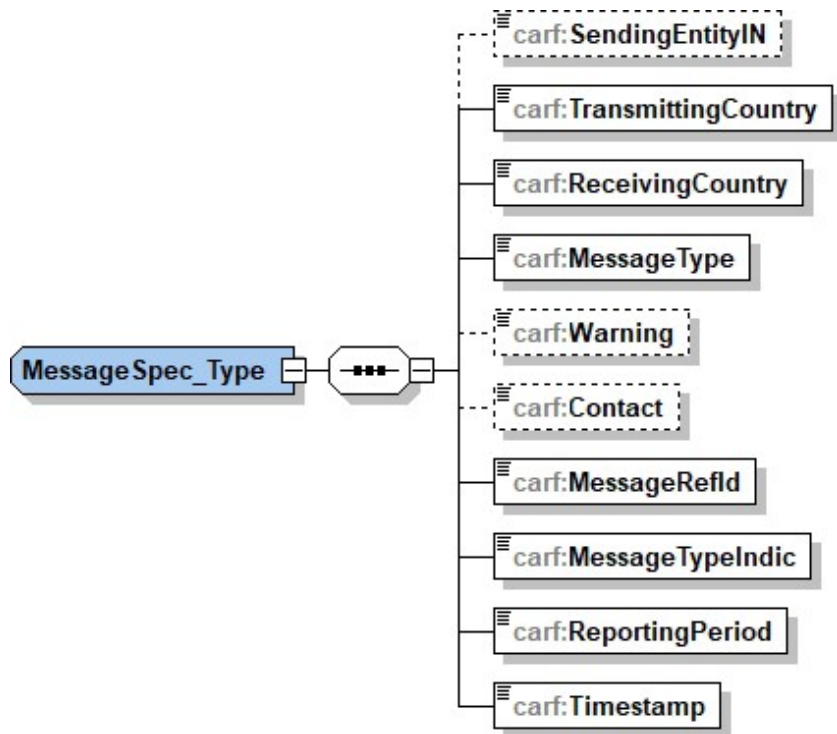


付録A. CARF XMLスキーマv.1.5 図解

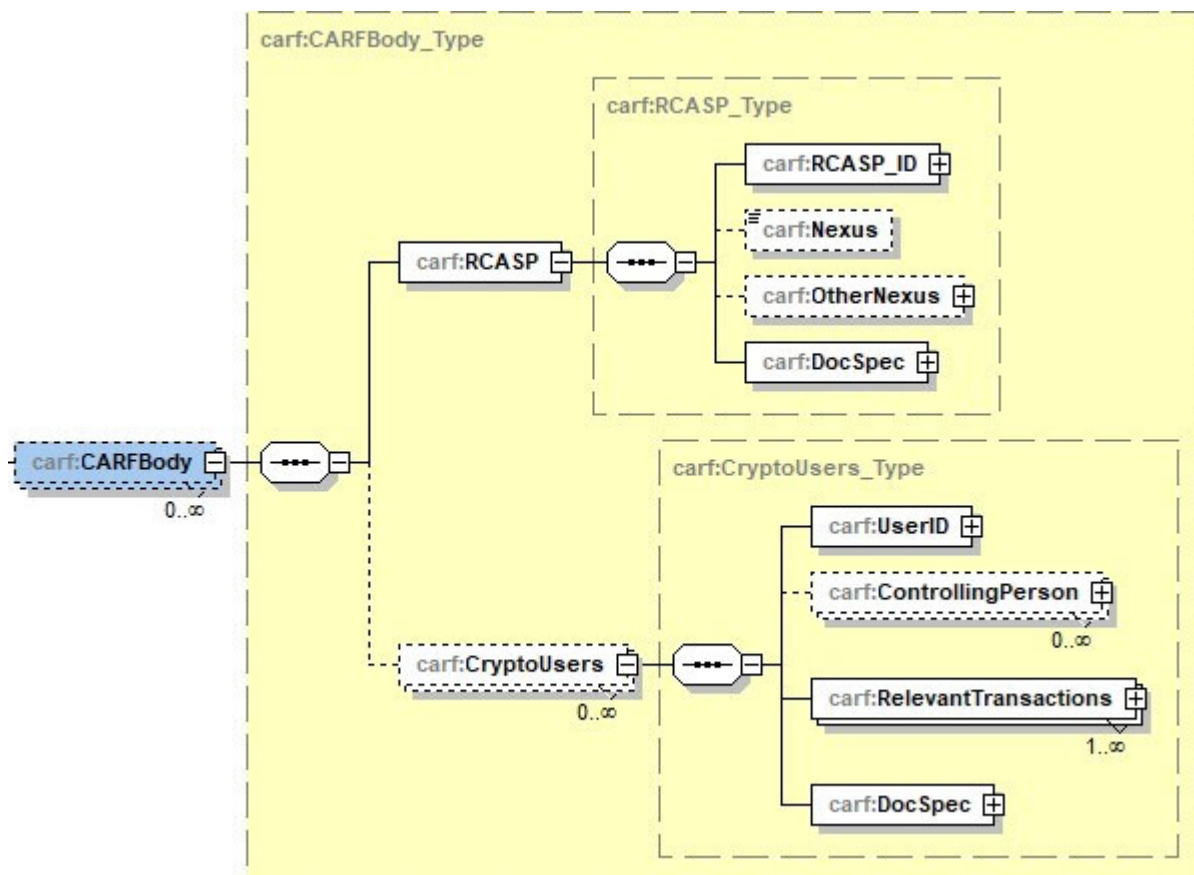
CARFスキーマ



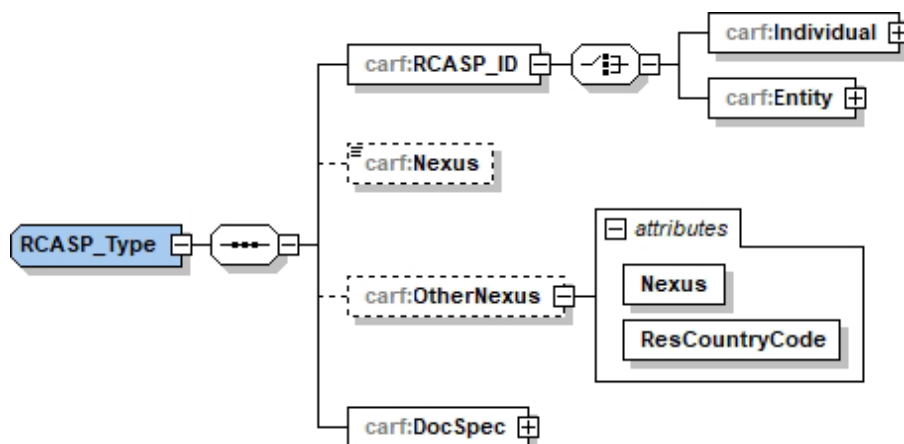
MessageSpec



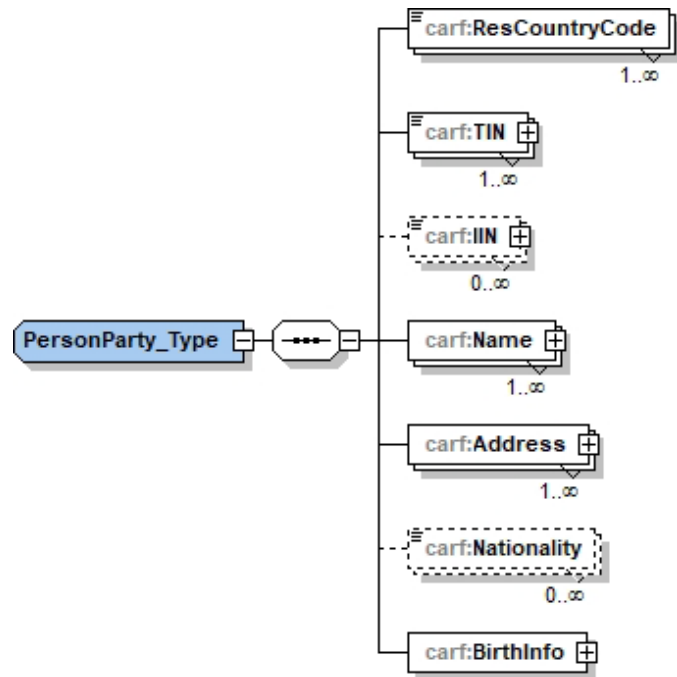
CARF Body



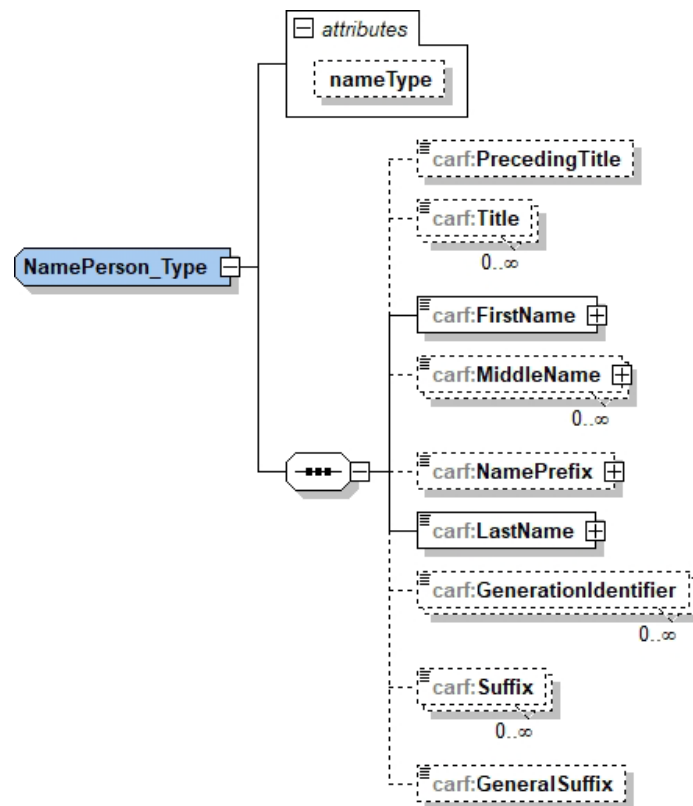
RCASP (報告暗号資産交換者等)



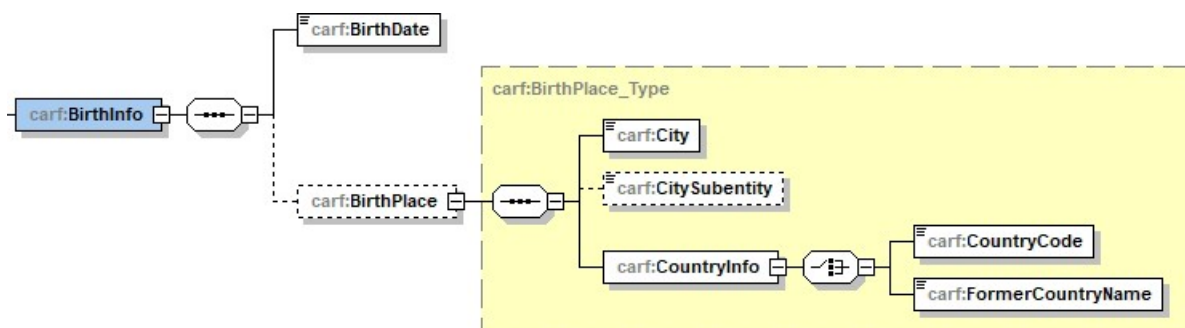
Person Party Type (個人当事者)



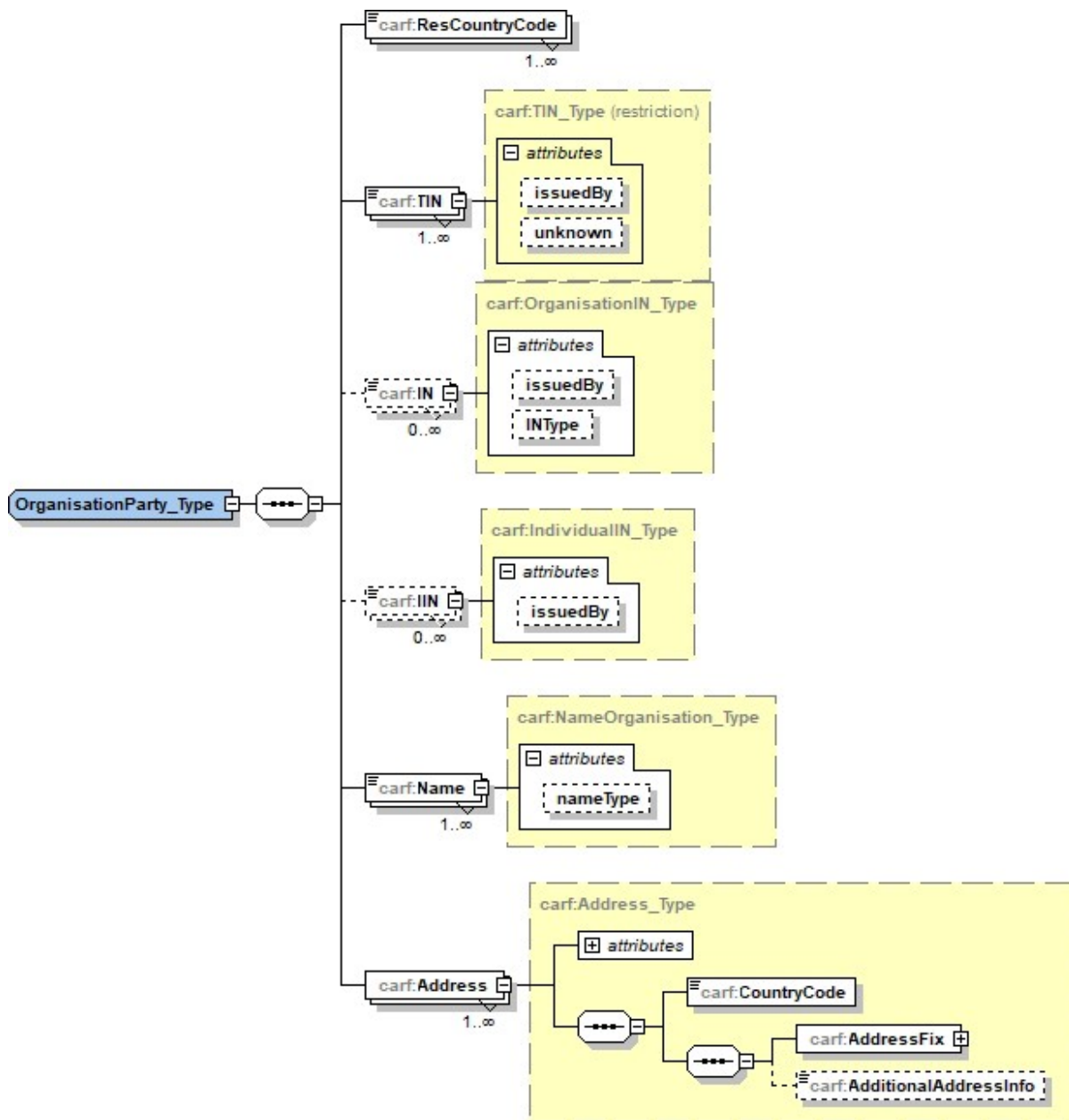
Name Person Type (氏名情報)



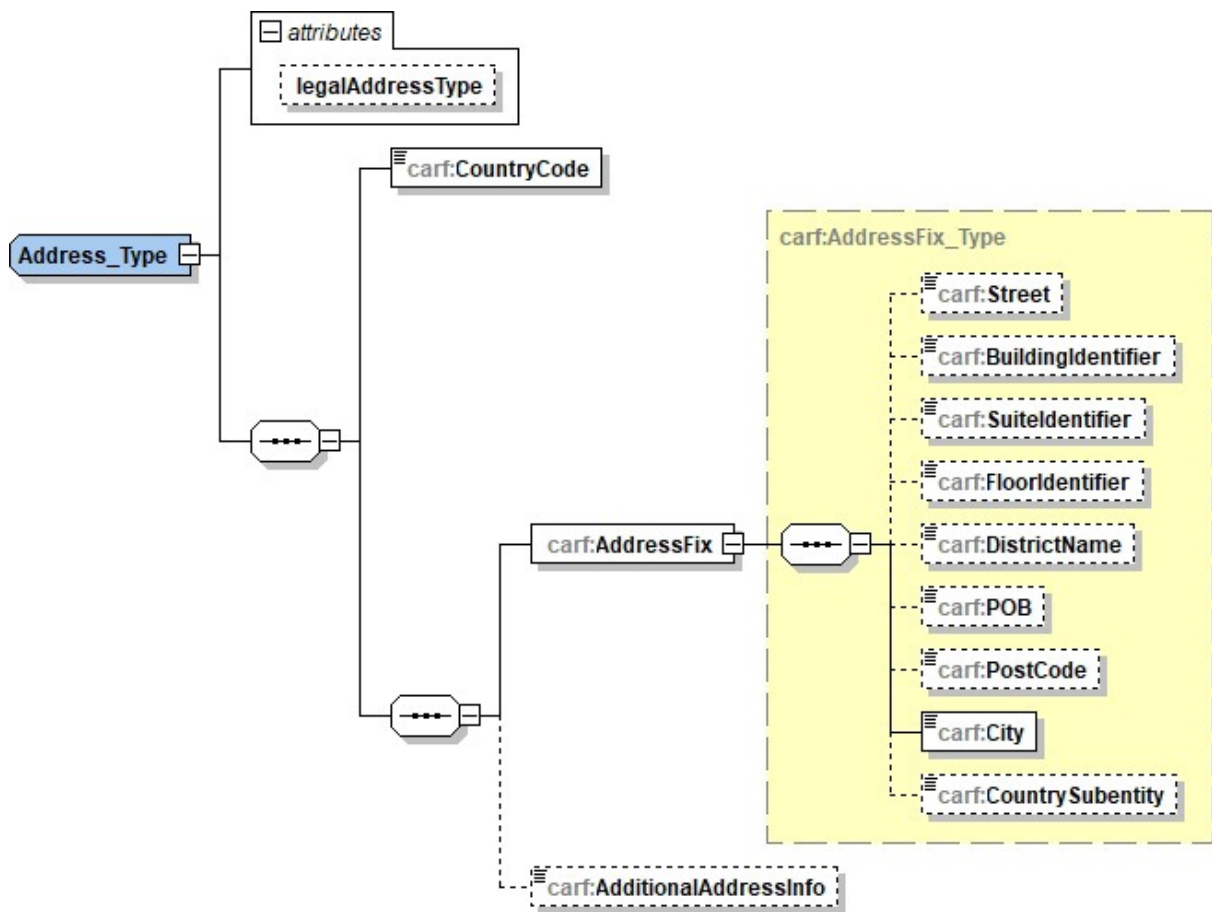
BirthInfo (出生情報)



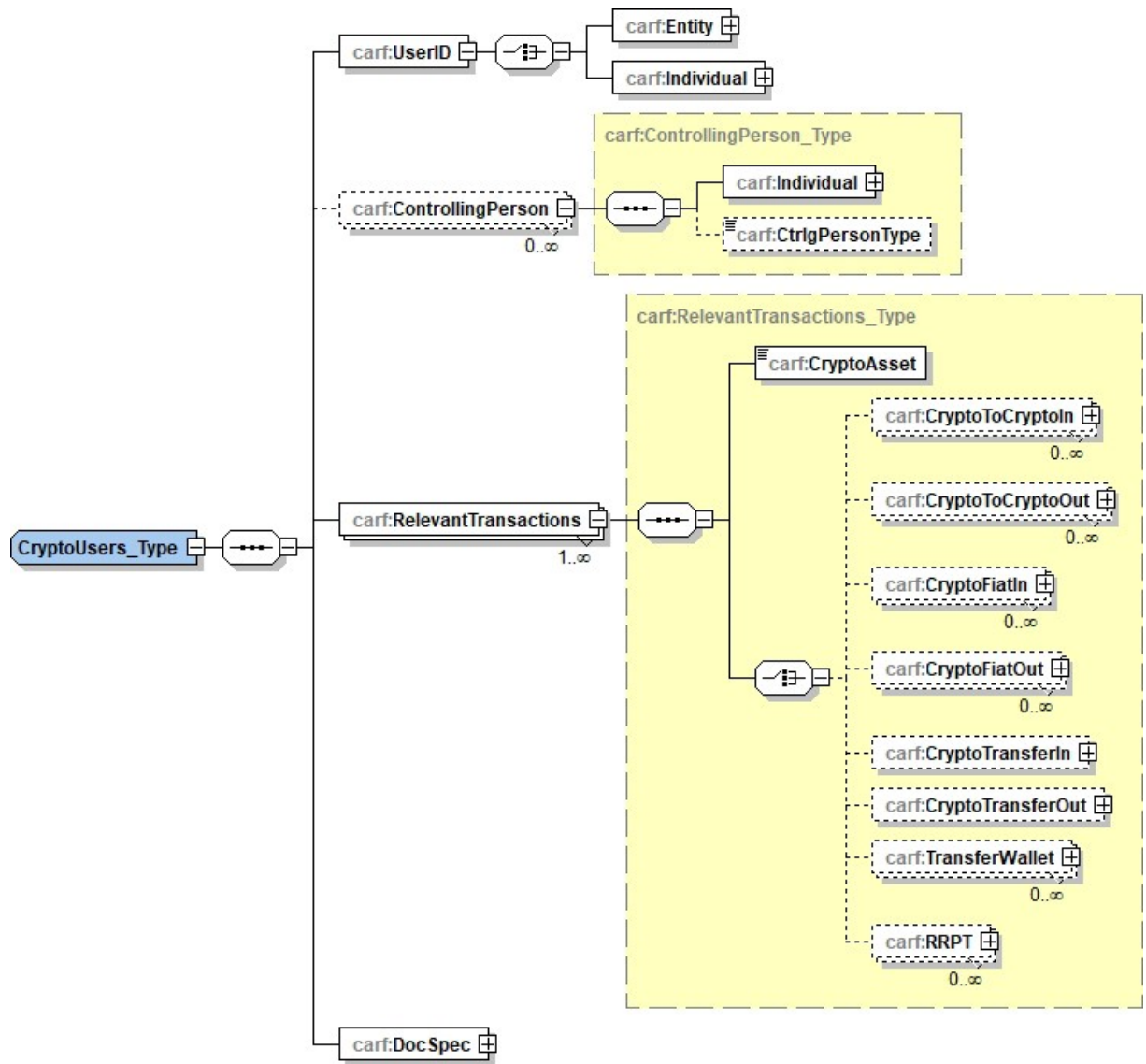
Organisation Party Type (組織当事者)



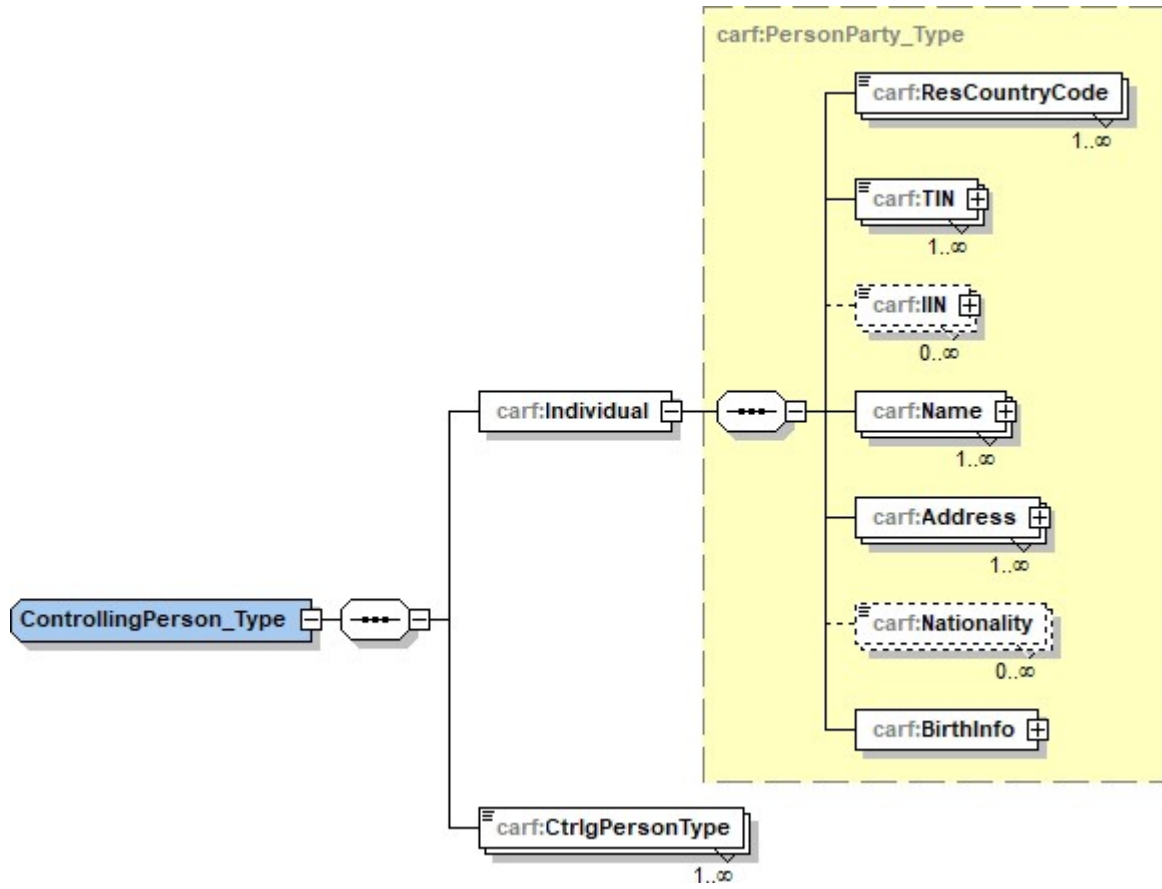
Address_Type (住所)



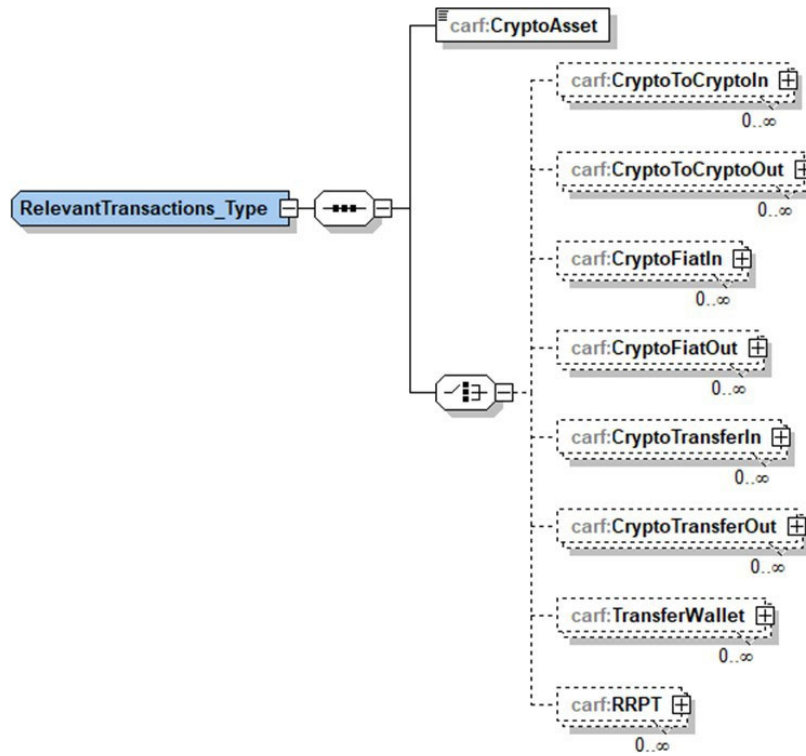
CryptoUsers (暗号資産等取引実施者)



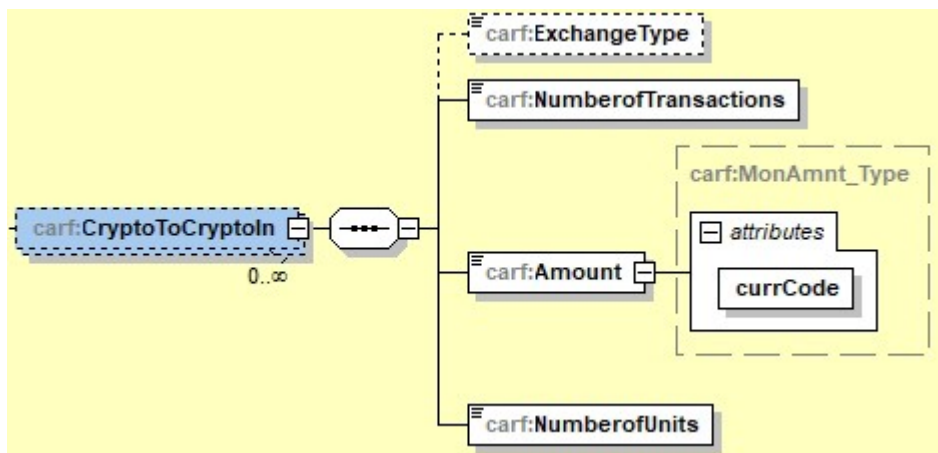
ControllingPerson (實質的支配者)



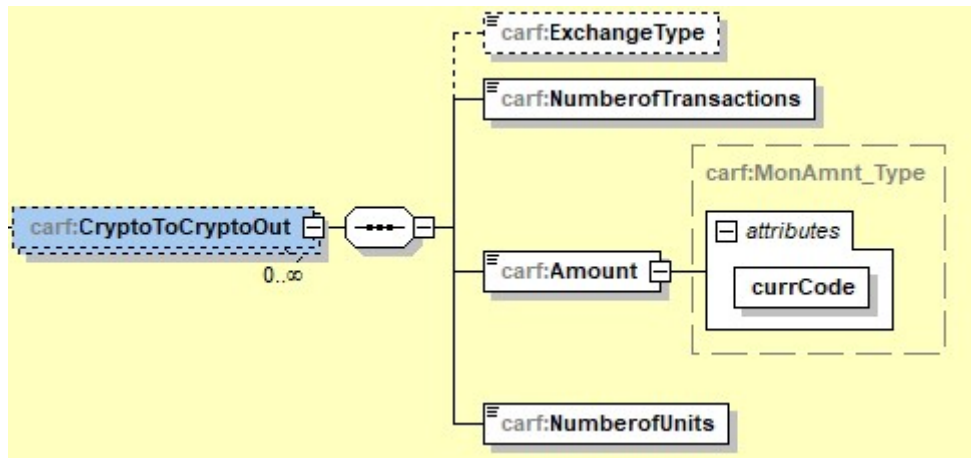
RelevantTransactions (関連取引)



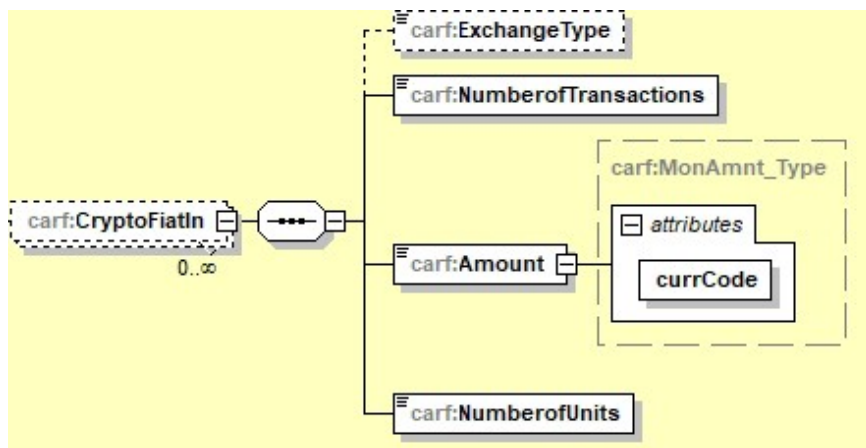
CryptoToCryptoIn (他の暗号資産との交換による暗号資産の取得)



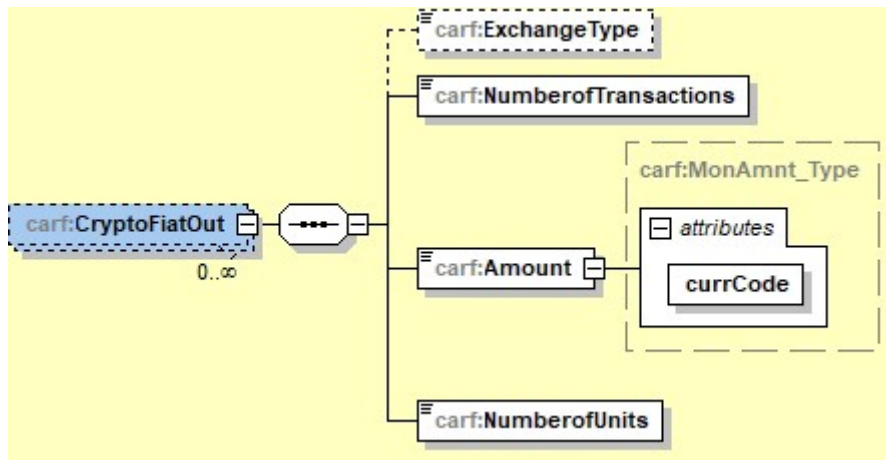
CryptoToCryptoOut (他の暗号資産との交換による暗号資産の処分)



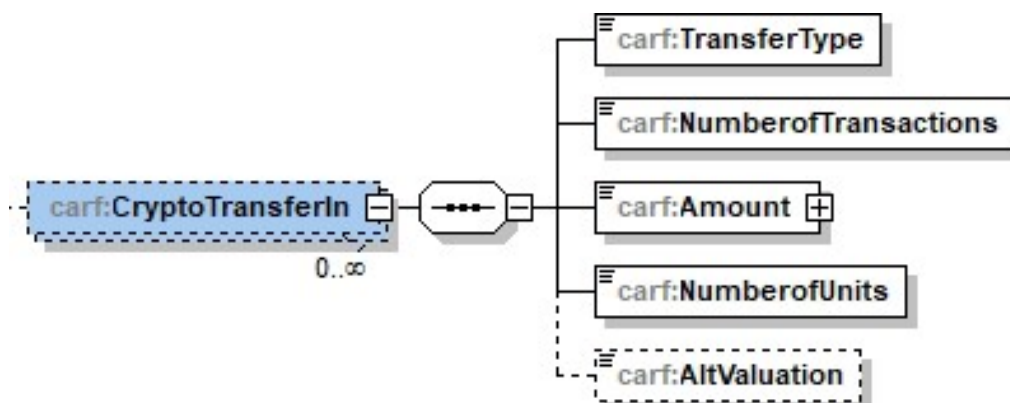
CryptoFiatIn (法定通貨との交換による暗号資産の取得)



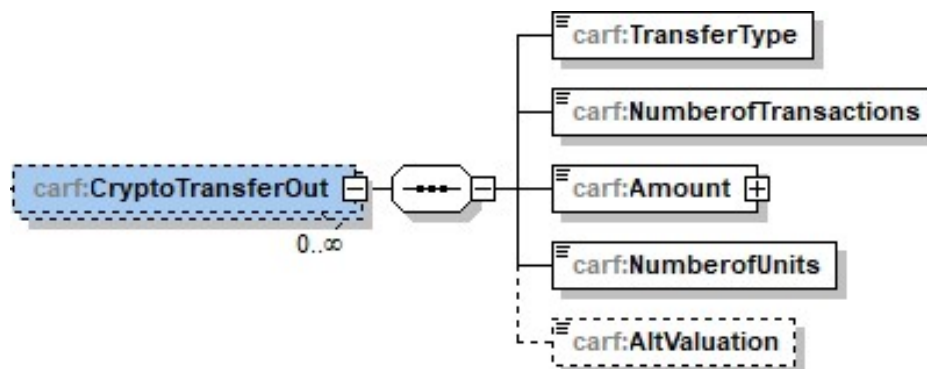
CryptoFiatOut (法定通貨との交換による暗号資産の処分)



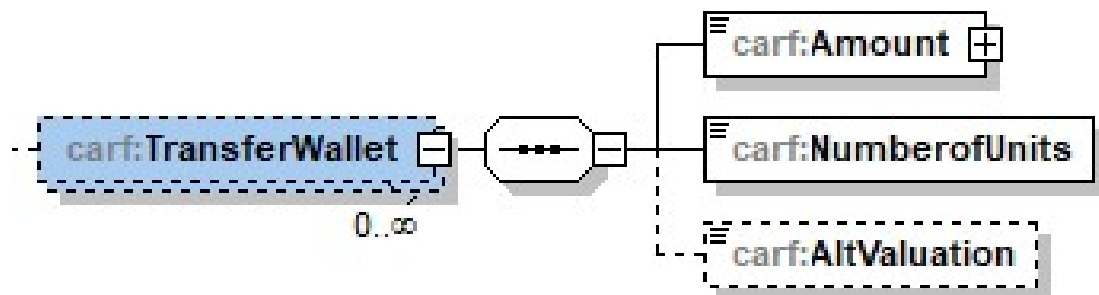
CryptoTransferIn (暗号資産の移転 (入庫))



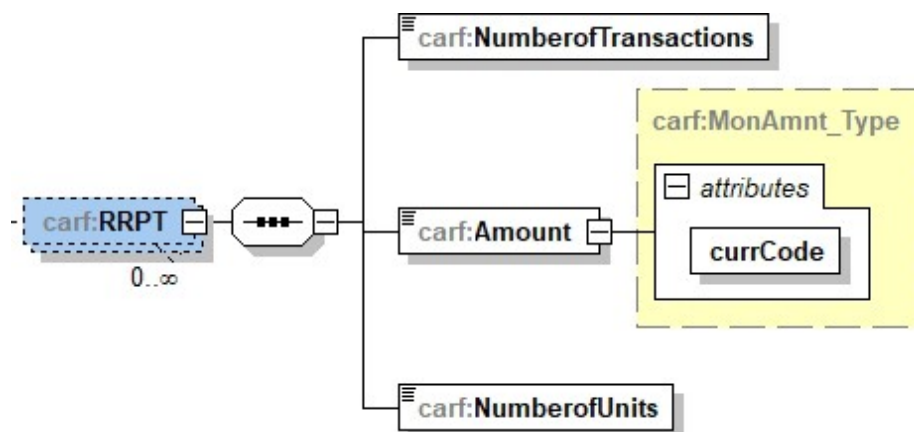
CryptoTransferOut (暗号資産の移転 (出庫))



TransferWallet (自己管理型ウォレットアドレスへの移転)



RRPT (報告対象小売決済取引)



付録 B. 名前空間の用語集

CARF XML スキーマ名前空間

名前空間	説明	ファイル名
Carf	CARF タイプ	CARFXML_v1.5.xsd
Stf	OECD共通タイプ	OecdCARFTypes_v1.0.xsd
Iso	ISO タイプ (国、通貨、言語コード)	IsoCARFTypes_v1.0.xsd